

【暫定版】 本書は現在、法律専門家による確認を受けている途中の版です。確認完了後に内容を更新する場合があります。本サービスは株式会社STEAM Sports Laboratoryが提供しています。ご不明な点は下記窓口までお問い合わせください。

CoachQuest 大学版 利用規約

- 契約当事者: 株式会社STEAM Sports Laboratory（以下「当社」）と、本サービスを導入する大学（以下「大学」）
- 利用者: 大学に在籍し、大学が本サービスの利用対象として指定した学生（以下「学生」）。原則として成人（18歳以上）を想定

第1条（適用・定義）

- 本規約は、当社が提供するクラウドサービス「CoachQuest 大学版」（以下「本サービス」）の利用条件を定めるものです。
- 本規約において用いる用語の意味は、次のとおりとします。

用語	意味
大学	本サービスを導入し、当社と本規約および別途のサービス契約書を締結する大学その他の高等教育機関
学生	大学に在籍し、大学が本サービスの利用対象として指定した学生
教職員	大学の教員・職員であって、大学が本サービスの利用権限を付与した者
対話ログ	学生とAIコーチとの対話の記録
成長レポート	対話ログ等に基づき本サービスが生成する非認知能力8軸のスコアおよび成長に関するレポート
学生ビュー	学生本人が自らの成長レポート等を閲覧する画面
教職員ビュー	教職員が担当学生の成長レポート等を閲覧する画面

第2条（契約の構成と優先順位）

1. 当社・大学・学生間の権利義務は、次の文書によって定まります。
 - 本規約
 - 当社と大学との間のサービス契約書（トライアル利用の場合はトライアル利用合意書）
 - プライバシーポリシー
 - 学生本人が署名する本人同意書
2. 各文書の内容に矛盾がある場合、次の順序で優先します。
 - 学生個人の個人データの取扱いに関する事項: 本人同意書 → プライバシーポリシー → サービス契約書 → 本規約
 - 当社と大学との間の権利義務に関する事項: サービス契約書 → 本規約 → プライバシーポリシー

第3条（アカウントの発行・管理）

1. 当社は、大学からの申請に基づき、学生および教職員のアカウントを発行します。
2. 大学は、アカウント発行の対象となる学生および教職員の範囲を特定し、正確な情報を当社に提供します。
3. 大学および学生は、ログイン認証情報を厳重に管理し、第三者に共有・貸与してはなりません。複数名が同一のアカウントを使用してはなりません。
4. 大学は、学生の在籍状況に変更が生じた場合（卒業・退学・休学・転学等）、速やかに当社に通知します。
5. 当社および大学は、本サービスの利用開始時において、利用者が当該アカウントの本人であることを確認する運用を行います。

第4条（学生の利用）

1. 学生は、本規約、プライバシーポリシーおよび本人同意書の内容を確認し、同意したうえで本サービスを利用します。

2. 学生の同意は任意であり、同意しないこと、または同意を撤回することによって、成績評価・単位認定・指導その他の取扱いにおいて不利益を受けることはありません。
3. 学生は、本サービスをいつでも利用停止でき、同意の撤回およびデータの削除を当社または大学の窓口に請求できます。

第5条（サービス内容）

1. 本サービスは、学生がAIコーチと対話することにより、非認知能力8軸のスコアおよび成長レポートを生成し、これを学生本人および大学の教職員に提供するものです。
2. 提供する画面は、学生ビューおよび教職員ビューとします。
3. 企業その他の第三者に対して学生の成長レポート等を共有する機能は、本規約の下では提供しません。将来これを提供する場合、当社は、当該機能の内容・提供先・提供項目を明示したうえで、学生本人から個別に同意を取得します。大学が学生に代わって当該同意を与えることはできません。
4. 本サービスの内容には、次のものは含まれません。
 - 医学的・心理学的な診断、治療その他の医療行為
 - 学生の選抜、成績評価、単位認定その他の処遇の決定
 - 学生に関する適性・能力の確定的な判定

第6条（大学の責務）

1. 大学は、本サービスの利用にあたり、対象学生に対して本サービスの内容・取得する情報・利用目的・第三者提供の有無・保存期間・同意の撤回方法を説明し、本人同意書による同意を取得したうえで利用させるものとします。
2. 大学は、前項の同意の記録を保管し、当社からの合理的な請求があった場合にその状況を示します。
3. 大学は、同意の任意性を確保するため、次の措置を講じます。
 - 同意しない場合にも成績評価・単位認定・指導上の不利益が一切ないことを、学生に対し書面その他の方法で明示すること
 - 同意書の回収経路を、当該学生の成績評価に関与する教員以外の担当者とする

- 同意しなかった学生が誰であるかが、成績評価に関与する教員に判明しない運用とすること
4. 大学は、18歳未満の学生を本サービスの利用対象に含める場合、あらかじめ当社に通知し、当該学生について法定代理人の同意を取得していることを表明し、保証します。16歳未満の学生を含める場合の取扱いは、別途当社と協議のうえ定めます。
 5. 大学は、教職員ビューを通じて知り得た学生の情報を、本サービスの利用目的（学生の学修支援・キャリア支援）の範囲内でのみ利用し、学生の処遇を決定する根拠として用いないものとします。
 6. 大学は、当社の事前の書面による承諾なく、本サービスを第三者に利用させ、または再委託してはなりません。

第7条（禁止事項）

大学、教職員および学生は、次の行為を行ってはなりません。

- 法令または公序良俗に違反する行為
- 本サービスのリバースエンジニアリング、逆コンパイル、ソースコードの解析
- 本サービスの運用を妨げる行為（過大なリクエスト、スクレイピング等）
- 他人になりすまして本サービスを利用する行為、アカウントを共有・貸与する行為
- AIコーチに対する、差別・暴力・ハラスメントを助長することを目的とする入力
- 当社または第三者の知的財産権・プライバシーを侵害する行為
- 本サービスの脆弱性を悪意をもって探索・公開する行為（脆弱性のご報告は問い合わせ窓口で受け付けます）
- 競合サービスの開発を目的とする情報収集・利用

第8条（個人情報の取扱い）

1. 個人情報の取扱いは、別途定めるプライバシーポリシーおよびサービス契約書の個人データ取扱条項に従います。
2. 当社は、学生の対話ログの逐語の内容を、学生本人以外の者（教職員を含む）に提供しません。ただし、第11条に定める場合を除きます。

第9条（品質改善・研究を目的とする二次利用）

1. 当社は、本サービスの品質改善および学術的な研究のために、対話ログおよび成長レポートを利用することがあります。
2. 前項の利用は、個人を識別できないように匿名化し、または仮名加工したうえで行うものとし、これを条件とします。匿名化または仮名加工を経ない生データを品質改善・研究の目的で利用することはありません。
3. 仮名加工した情報を当社以外の者（外部の評定者・共同研究機関等）に取り扱わせる場合、当社は、当該者を個人データの取扱いの委託先として構成し、契約により本規約と同等の義務（再識別行為の禁止を含む）を課します。委託構成によらない第三者提供を行う場合は、学生本人から個別に同意を取得します。
4. 学生は、第1項の二次利用について、本人同意書に定める方法により、同意しないこと（オプトアウト）を選択できます。オプトアウトを選択しても、本サービスの提供および成長レポートの受領には影響しません。

第10条（AIコーチの設計原則）

1. 本サービスのAIコーチは、次の設計原則に基づいて構築されています。
 - 非審判性: 判断的態度を排し、本人の言葉と経験を尊重する
 - 本人中心: 答えを押し付けず、本人が自ら気づき・選択する対話を導く
 - 成長志向: 強みの発見と前進を促す問いを設計する
2. 本サービスのAIコーチは、設計上、次の行動を行いません。
 - 他の学生との比較、順位づけ、偏差値その他の相対評価の提示
 - 「あなたは〇〇タイプである」といった決めつけ（ラベリング）
 - 政治的・宗教的信条への介入
 - 医学的な診断・治療上の助言
 - 進路・就職に関する意思決定の指示
3. AIコーチは医療行為・カウンセリング行為・心理的診断行為を行いません。心身の不調その他の深刻な課題がある場合は、大学の学生相談室・保健管理センター、医師、公認心理師・臨床心理士等の専門家への相談を推奨します。

4. 成長レポートに示されるスコアは、学生の能力を確定的に測定したものではなく、対話の記録に基づく観察の一つです。成績評価・選抜その他の処遇を決める根拠として用いないでください。

第11条（危機に関わる発話を検知した場合の取扱い） — 暫定条項

1. 当社は、対話の中で、自殺・自傷、他害、虐待被害その他の生命・身体の安全に関わる可能性のある発話を検知する仕組みを設けることがあります。
2. 前項の検知があった場合、当社は次のとおり取り扱います。
 - 原則として、学生本人に対し、大学の学生相談室・保健管理センター等の相談窓口および外部の公的相談窓口を案内します。
 - 学生本人があらかじめ本人同意書において同意した場合に限り、大学があらかじめ指定した窓口に対し、検知したカテゴリおよび重大度のみを通知します。
 - 生命・身体に急迫の危険があると当社が判断した場合、本人の同意がないときであっても、前号の通知を行うことがあります。
3. 前項各号の通知には、対話の逐語の内容を含めません。
4. 大学は、第2項の通知を受け取る窓口（連絡先および対応手順）をあらかじめ当社に指定します。
5. 第2項の記録は、学生の安全確保の目的のためにのみ利用し、成績評価・懲戒その他の処遇の目的には利用しません。
6. 本条の仕組みは、危機を網羅的に検知することを保証するものではありません。大学は、本サービスとは独立して、学生の安全に関する自らの体制を維持するものとします。

第12条（知的財産権）

1. 本サービスに関する一切の知的財産権は当社に帰属します。
2. 学生が本サービス内で入力した内容の権利は学生に帰属します。当社は、本サービスの提供および第9条に定める範囲でのみこれを利用します。
3. 成長レポートその他の出力物は、学生本人および大学の内部利用に限り使用できます。第三者への公表・販売には当社の事前の書面による同意を要します。学術目的の公表については、別途協議のうえ定めます。

第13条（サービス内容の改変・中断・モニタリング）

1. 当社は、本サービスの内容を改変することがあります。学生および大学の利益に重大な影響を及ぼす改変を行う場合、事前に通知します。
2. 当社は、次の場合に本サービスを一時中断することがあります。事前の通知が可能な場合は通知します。
 - システムの保守
 - 障害発生時の緊急対応
 - 委託先（クラウド事業者・AI推論基盤等）に起因する障害
 - 不可抗力（自然災害、戦争、テロ、大規模通信障害、感染症の拡大等）
3. 当社は、本サービスの提供を終了する場合、6か月前までに大学に通知します。
4. 当社は、不正利用の検知・品質の改善・安全管理のために利用状況をモニタリングすることがあります。モニタリングは原則として集約された統計情報として処理し、個別の対話内容の閲覧は、障害の調査、第11条の危機対応、および本人・大学からの申立てへの対応に必要な範囲に限ります。

第14条（免責・損害賠償）

1. 当社は、本サービスにより生成されるスコア・レポートの正確性・有用性を保証しません。
2. 当社が大学に対して損害賠償責任を負う場合、その範囲は直接かつ通常の損害に限り、賠償額は損害発生前12か月間に大学が当社に支払った利用料金相当額を上限とします。ただし、当社の故意または重大な過失による場合はこの限りではありません。
3. 当社は、間接損害・特別損害・逸失利益について責任を負いません。
4. 当社の管理範囲外で発生した事象（インターネット回線、大学側ネットワーク、利用者の端末に起因するもの）について、当社は責任を負いません。

第15条（反社会的勢力の排除）

1. 当社および大学は、それぞれ相手方に対し、自己および自己の役員が、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋、

社会運動等標榜ゴロ、特殊知能暴力集団その他これらに準ずる者に該当しないこと、および将来にわたっても該当しないことを表明し、保証します。

2. 一方が前項に違反した場合、相手方は何らの催告なく本規約および関連契約を解除でき、これにより生じた損害の賠償を請求できます。

第16条（秘密保持）

1. 当社および大学は、本サービスに関連して知り得た相手方の秘密情報を、本サービスの利用目的以外に利用せず、第三者に開示しません。
2. 別途秘密保持契約を締結している場合は、当該契約が優先します。

第17条（有効期間・解約）

1. 本規約の有効期間は、当社と大学との間のサービス契約書またはトライアル利用合意書に定める期間とします。
2. 大学は、サービス契約書に定める手続により解約できます。
3. 当社は、大学が次のいずれかに該当する場合、催告なく本サービスの提供を停止し、または契約を解除できます。
 - 本規約に違反したとき
 - 反社会的勢力に該当することが判明したとき
 - 利用料金の支払を遅滞したとき
 - 監督官庁の処分を受け、または法令違反の事実が判明したとき
 - 破産、民事再生その他の倒産手続の開始の申立てがあったとき
 - その他信頼関係を損なう行為があったとき
4. 契約終了時のデータの取扱いは、サービス契約書およびプライバシーポリシーに従います。

第18条（規約の改定）

1. 当社は本規約を改定することがあります。改定する場合、改定後の規約を本サービス上に掲載し、大学の窓口担当者宛に通知します。

- 2. 通知後14日以内に大学から異議の申出がない場合、大学は改定に同意したものとみなします。
- 3. 学生の個人データの取扱いに関する重要な変更を行う場合、当社は前項によらず、学生本人から改めて同意を取得します。

第19条（準拠法・管轄）

- 1. 本規約は日本法を準拠法とします。
- 2. 本規約に関する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

制定日: 2026年8月22日

事業者の表示

項目	内容
事業者名	株式会社STEAM Sports Laboratory
代表者	代表取締役 山羽 教文
所在地	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1丁目1番1号フロントプレイス神田神保町12階
個人情報保護管理責任者	取締役 小松 健太郎
お問い合わせ	contact@coachquest.ne.jp